



スイッチ OTC 薬

<「スイッチOTC薬」とは…>

もともとは医師の処方せんがなければ手に入らなかった薬が、薬局・ドラッグストアで市販薬として買えるようになった薬。つまり、医療用薬から市販薬にスイッチ(転用)されたという意味です。

*OTC…「Over The Counter」の略で、「薬局のカウンター越しに売られる薬」という意味で、市販薬のことを指します。

<「スイッチOTC薬」にはどのようなものがあるか？>

有名なものでは、胃薬の「ガスター10」、最近では、消炎鎮痛の塗り薬「ボルタレンゲル」、飲み薬「ロキソニンS」などがあります。これらのように医療用の薬の名前とほぼ同じものもありますし、ヘルペスの薬「アクチビア軟膏」(医療用:ゾビラックス軟膏)、アレルギーの薬「アルガード」(医療用:レミカット)のように、別の名前がついているものもあります。

<主なスイッチOTC薬>

スイッチ年	スイッチOTC名	医薬用薬名	何の薬?	区分
2011年	ナシビンMスプレー	ナシビン点鼻液	鼻炎等による鼻づまりの薬	第1類
2011年	エンペシドL	エンペシド錠	腔カンジダの再発防止薬	第1類
2010年	ロキソニンS	ロキソニン錠	痛みを和らげる・熱を下げる薬	第1類
2009年	ボルタレンACゲル	ボルタレンゲル	痛み止めの塗り薬	第1類
2008年	ニコチネルパッチ10	ニコチネルTTS	禁煙を助ける貼り薬	第1類
2007年	アクチビア軟膏	ゾビラックス軟膏	口唇ヘルペスの再発防止薬	第1類
2007年	ザジテンAL点眼薬	ザジテン点眼液	アレルギーを抑える目薬	第1類
2006年	アフタッチA	アフタッチ口腔用貼付剤	口内炎の薬	指定第2類
2002年	ダマリンエース	ペキロンクリーム	水虫の薬	指定第2類
2000年	セルベール	セルベックス細粒	胃の薬	第2類

<スイッチOTCの「区分」って?>

市販薬は使用にあたって注意が必要な順に、「第1類」「指定第2類」「第2類」「第3類」に分類されています。第1類は、薬剤師が販売し、書面で情報提供することになっています。

スイッチされて間もない薬は「第1類」になり、徐々に「指定第2類」→「第2類」→「第3類」と緩和されていく傾向にあります。「第2類」「第3類」は登録販売者にも相談できます。



<どのような薬がスイッチされるのか?>

スイッチされるのは、多くの患者さんに使われ、安全性の高いものです。もともとは医療用として使われていたものであるため、効き目は優れていると考えられます。ちょっと体調が悪いときに、病院に行かずに自分で治すことができるなど、セルフケアの選択肢が広がります。

反面、切れ味が良い分、正しく使用しないと**思わぬ副作用などが起こる場合があります**。説明書をよく読んで服用方法を守りましょう。また、他の薬との飲み合わせの問題や、症状や体質に合っているか、過去に同じような薬で副作用が起こらなかったか、など、気をつけなくてはなりません。薬剤師や登録販売者に相談してから購入されることをお勧めします。

なお、市販薬を使っても症状が改善しない場合には、早めに病院にかかりましょう。